



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成27年9月30日



起震車による地震体験

避難所運営ゲームとは、災害時の避難所の運営方法をゲーム感覚で学ぶ訓練で、グループで話し合いながら運営を体験するもの。青森市危機管理課の説明の後、参加者は避難所の図面と部屋割りをするためのカードを使い、災害時の避難所を想定し、意見交換をしながら運営方法をシミュレーションした。

9月8日(火)、リンクステーションホール青森において「健康力アップセミナー」が開催され、当組合の西理事長が事例発表を行った。東奥日報社が主催する同セミナーは、短命県返上に向け青森県の掲げる「健康で長生きな青森県」を目指す方針のもと、青森県民の健康増進を応援するため企業向けに開催。経営者や労働担当者ら約200人が参加し、専門家らの講演を通じ、働き盛りの死亡率が高い青森県の健康づくりを考えた。

今回の地震体験は、当初予定していた起震車による地震体験を希望者が参加した地震体験では、阪神・淡路大震災や十勝沖地震など、忠実に再現された過去の地震の揺れを体験。参加者は想像以上の揺れに目を白黒させ、必死に揺れに耐

は、集団健康診断やインフルエンザ集団予防接種の実施、健康増進啓蒙活動など、当組合が青森市南部の健康づくりの拠点となるべく実施している健康事業について紹介した。



事例発表する西理事長

## 地震体験や避難所運営方法などを学ぶ 第3回問屋町防災訓練

今回で3回目となる問屋町防災訓練が8月26日(水)、午前10時から問屋町会館で開催された。訓練には組合員従業員43名が参加したほか、青森市危機管理課、青森地域広域事務組合消防本部及び同組合東消防署より担当官が講師として出席した。

当日はあいにくの雨のため、当初の予定を変更して訓練は行われた。はじめに、問屋町会館2階大会議室において炊き出し訓練を実施。長期間保存可能で水やお湯を注ぐだけで食べられるアルファ米の作り方を確認した。その後、参加者は2班に分かれ、1階会議室で避難所運営ゲーム、2階大会議室で救命訓練を交互に実施した。

救命訓練では消防官の指導のもと、心肺蘇生法とAEDの使用手順を確認。参加者は訓練用の人形を使って、意識の確認や胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用法などの一連の流れを体験し、緊急時の対応を学んだ。



避難所運営ゲーム



心肺蘇生法を学ぶ

えていた。近年、地震や噴火、台風、豪雨などの自然災害が数多く起こっており、災害に対する危機感が高まっている。組合

では組合員の防災意識の高揚を図り、災害時や緊急時に迅速な対応ができるよう、今後とも継続して防災訓練を実施していく。

### ストレスチェック制度について学ぶ 組合員昼食会

9月8日(火)に、組合員昼食会が問屋町会館1階会議室で開催され、組合員ら45名が参加した。

はじめに、12月から施行されるストレスチェック制度について、労働衛生コンサルタントの福原智子氏より説明があった。

ストレスチェックとは、事業者が労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査。常時使用する従業員が50人以上の事業所は、年1回の実施が義務づけられる。また、従業員数50人未満の事業所は当面努力義務となる。

検査は希望者に対し医師や保健師等が行い、結果次第では、事業所は従業員に対し時間外労働の制限や作業の転換等就業上の措置を取る必要がある。ただし、結果を理由とした異動や解雇等従業員にとって不利益な取り扱いが禁止されている。

### 景観アップに大活躍 問屋町緑のボランティア隊

8月23日(日)と9月6日(日)の両日、問屋町緑のボランティア隊による団地内の美化活動が行われた。2日間で、隊員とその家族、延べ47名が参加し、問屋町の景観向上に汗を流した。

作業は、問屋町地区の街路樹下枝刈りに加え、街路樹柵や歩道の除草作業も行われた。参加した隊員は、普段車で通行しているだけでは気づかない街路樹の下枝や歩道の雑草の多さに苦労しながらも、広範囲に及ぶ作業箇所、草を懸命に刈り取り、回収した。



問屋町緑のボランティア隊

夏の間には繁茂した草や枝も隊員たちの活躍により整備され、問屋町は美しい景観を取り戻した。

今年度で活動10周年を迎える問屋町緑のボランティア隊。同隊は、この後、第二問屋町地区でも街路樹整備等を実施する予定である。

### あおぎんカードサービス 便利な法人カードのご紹介

協同組合青森総合卸センターでは、組合員従業員向けに年会費無料の「問屋町ゴールドカード」をあおぎんカードサービス株式会社と提携して提供している。

今回はあおぎんカードサービスの便利な「法人カード」を紹介する。

法人カードは企業向けのクレジットカードで、沢山のメリットがあることから近年導入する企業が増えている。一番大きなメリットは、経理の合理化と効率化が図れること。現金による面倒な立替払いや清算業務から解放され、支払日・支払先・支払金額が

### 第1回 税務研修会

講師に青森税務署の谷地田審理専門官、小林税務広報広聴官を招き、第1回税務研修会が7月29日(水)、問屋町会館で開かれた。

主な研修内容は次のとおり。▽繰越欠損金の内容と改正について

欠損金繰越控除は、特定の期に税務上の欠損金が発生した場合に、その欠損金を繰越し、翌期以降の課税所得と相殺し税負担を軽減する制度。①大企業の控除限度額の段階的引下げ※中小企業等はこれまで通り、所得金額全額を控除可能。  
平成27年4月1日～平成29年3月31日までの間に開始す

明細書として一覽で確認できるので経理業務がスピードアップ。

法人カードで支払いできるものには、毎月の電気代や電話代、新聞購読料、放送料金をはじめ、インターネットショッピングやホームセンターでの資材購入、飲食店での会食費、出張先でのガソリン代や宿泊費など様々なビジネスシーンに対応が可能。今まで口座引落しや現金払いで行っていた支払業務を法人



【携帯電話】



【固定電話】



【電気料金】

カードにまとめることで、支払日が毎月固定の日に統一される。また、個人カードと同様に使えば使うほどポイントが貯まり、貯まったポイントは商品券などと交換することができる。

便利でお得な法人カードのご利用をぜひご検討ください。お問合せは、あおぎんカードサービス㈱(77612161)まで。

事業年度の控除限度額は所得金額の65%(改正前80%)。平成29年4月1日以降に開始する事業年度の控除限度額は所得金額の50%に改正された(改正前80%)。

②欠損金の繰越期間の延長  
平成29年4月1日以後に開始する事業年度において生じた欠損金の繰越期間が、10年に延長された(改正前9年)。

①税分野におけるポイント  
所得税は平成28年分以降の申告書から、法人税は、平成28年1月1日以後に開始する事業年度に係る申告書からマイナンバーの記載が必要となる。その他、法定調書は平成28年1月1日以後の金銭等の支払等に係る法定調書から、

届出書等は平成28年1月1日以降に提出すべき届出書等からマイナンバーの記載が求められる。

②申告書や法定調書の様式の変更  
各帳票に番号欄が追加されるため、様式や用紙サイズが変更となる。



税務研修会

水温はいつも新鮮! 水/熱/冷

**大青工業株式会社**  
http://www.taiseiaomori.co.jp

- 設計施工
- 氷温システム
- 凍結・冷蔵設備
- 野菜・予冷設備
- (真空/産圧強制冷却)
- 真空凍結乾燥設備
- 廃熱回収装置
- CA設備 ●自動製水設備
- 衛生・給排水設備 ●空調設備

本社 青森市問屋町一丁目9番30号  
TEL 017(738)2131 FAX 017(738)9333  
E-mail: info@taiseiaomori.co.jp

八戸営業所 八戸市石堂三丁目9番13号  
TEL 0178(20)1561 FAX 0178(20)1562

ISO9001 認定取得

いつもそばに 地域と共に ...未来へ

**株式会社 吉田産業青森支店**

〒030-0812 青森市堤町1丁目8番5号  
TEL. 017-777-5111 FAX. 017-773-1953  
URL ● http://www.yoshidasangyo.co.jp/

ISO 9001 JMAQA-831 ISO 14001 JMAQA-E409

### 問屋町たんしん

①パトミニントン教室【新規事業】  
 日時 10月15日(木)  
 午後7時～9時  
 場所 はまなす会館体育館  
 参加料 500円  
 定員 20名

②第3回問屋町ハロウィンパーティー  
 日時 10月23日(金)  
 午後7時～9時  
 場所 ホテル青森  
 参加料 3階 孔雀の間  
 大人 2,100円  
 子供 1,000円  
 定員 230名

③フラワーアレンジメント教室【新規事業】  
 日時 11月19日(木)  
 午後6時30分～8時  
 場所 問屋町会館  
 参加料 500円  
 定員 20名

内容  
 ハロウィン仮装コンテスト  
 (大人の部・子供の部)や豪華賞品が当たる抽選会を開催

### 業務報告

#### 主要事項

- 8月
  - 4日▽安協問屋町支部第1回街頭指導
  - 6日▽第5回問屋町合同清掃
  - 7日▽第2回問屋町従業員モニター会議
  - 10日▽青森地区経営者協会夏季定例会
  - 11日▽津軽海峡ブランド博運営委員会
  - 17日▽金融審査会
  - 20日▽県中小企業組合士会理事會
  - 21日▽県中央会地区別懇談會
  - 23日▽第2回緑のボランティア
- ア隊
  - 25日▽安協問屋町支部第2回街頭指導
  - 26日▽第3回問屋町防災訓練
  - ▽青銀問屋町支店金友會納涼會
  - 27日▽商団連第2回ワーキング委員会
  - 28日▽東北卸商業団地連絡協議會移動幹事會
  - 31日▽問屋町経営同友會第3回役員會
- 問屋町  
 ビジネススクール:  
 26日▽商業簿記3級取得講座①  
 27日▽ビジネススマナー研修(訪問、来客対応編)

### 経済雑感 第七二一回

青森総合卸センター 理事長 西 秀記

前号に引き続き、当組合の西理事長による経済雑感をお送りする。

#### 「青森市の街づくり」(2回目)

青森市は、青森市新総合計画の中で、コンパクトシティの推進、広域交流拠点の形成、地域資源を活かしたまちづくりの推進等掲げている。また4つの都市拠点として、中心市街地地区、新青森駅周辺地区、操車場跡地区、浪岡駅周辺地区を定め、それぞれの都市拠点機能の充実と利便性の高い都市内公共交通ネットワークの形成を目指している。

その一方で、まちづくりの要素として青森市役所庁舎の整備、青森駅周辺整備等の計画が進行中であり、また厳しい経営状況に置かれているアウガ問題も対策が急がれている。他にも老朽化している公共施設等が多数あり、これらの今後のあり方についても検討しなければならない状況にある。



青森総合卸センター 理事長 西 秀記 氏

この中で青森駅とアウガは、コンパクトシティの要である中心市街地地区に立地しているが、他はほとんどがエリア外であることから、青森市のまちづくりは、コンパクトシティ構想を進めながらそれ以外にも対応しなければならぬという難しい環境にある。他県の実例を見ると、主だった都市拠点を中心市街地地区に集約させ、市内のどこからでも交通アクセスが良くなるように公共交通網を整備するスタイルが成功事例として多いのに対し、青森市は、あつちもこつちもやらなければならず、実はコンパクトシティ構想と整合性が取れていない矛盾も生じている。

では、この状況をどのよう

**鴨沢塗料株式会社**  
 青森支店  
 日本ペイント特約店

■主要品目  
 塗料全般、塗料資材、塗装機、接着剤、各種テープ、溶剤類、他

青森支店 青森市問屋町一丁目12-4 TEL (017)738-1771(代)  
 E-MAIL: aomori@kamosawa.co.jp FAX (017)738-1772

正確に！迅速に！  
 【ホットなコミュニケーション】  
 小電力業務連絡無線は、工事現場、各種イベント会場、そして遊園地や球場などのレジャー施設などで幅広く活用できるコンパクトサイズ。作業中でも両手を使わず操作ができ、高度な機能をフル装備のすぐれもの！  
 “一般業務用無線、防災行政用無線、その他通信関連機器取扱い”

**株式会社 東 晴**  
 代表取締役 雪田 清紀  
 〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目2-6  
 TEL 017-739-7088 FAX 017-739-3513

【業務内容】

- オフセット印刷 (ポスター・チラシ・パンフレット・リーフレット・記念誌 他)
- 企画・デザイン ●フォーム印刷 (OCR・帳票・メールシール)
- PDF・CD-ROM製作

**DP 第一印刷株式会社**  
 青森市石江字江渡3-1 〒038-0003  
 tel 017-782-2333 (代) fax 017-781-9153  
 e-mail: diikg-1@abeam.ocn.ne.jp

(有)ファイナンシャル・サポート

青森市第二問屋町3丁目3-31  
 TEL 017-739-6538  
 FAX 017-762-2357

特定非営利活動法人 **ラ・シャリテ**  
**(株)MT・Community**

**「第6回ぜんぶあおもり大農林水産祭」&「2015津軽海峡ブランド博」が今年は合同開催**

第二問屋町にある青森産業会館では11月7日(土)、8日(日)の2日間、「第6回ぜんぶあおもり大農林水産祭」と「2015津軽海峡ブランド博」を合同開催する。

これまで「ぜんぶあおもり大農林水産祭」は青森の食の魅力を県内外に発信するため、青森県の農林水産物や加工品、ご当地グルメなどを紹介するイベントとして平成22年より毎年開催してきた。

**団地企業訪問**

今回の団地企業訪問は、今年の4月に代表取締役社長に就任した、(株)ファイナンシャル・サポートの永瀬社長にお話を伺った。

同社は、平成15年に介護・福祉ビジネスをはじめ、建築業、不動産業の経営コンサルタントや新規事業立ち上げ支援などを行う企業としてスタート。現在は、経営コンサルタント会社として、介護事業者に対する経営指導・教育等の活動、特定非営利活動法人(NPO法人)ラ・シャリエが運営するサービス付き高齢者向け住宅のシステム開発や建設・開設・運営・経営等、

「津軽海峡ブランド博」は北海道新幹線開業を控え開業気運の高まる、青森県の東青地域や北海道の道南地域を中心とした津軽海峡を挟んだ地域の商工会議所・商工会が、地域ブランドづくり及び



昨年の大農林水産祭の様子

一方、「津軽海峡ブランド博」は北海道新幹線開業を控え開業気運の高まる、青森県の東青地域や北海道の道南地域を中心とした津軽海峡を挟んだ地域の商工会議所・商工会が、地域ブランドづくり及び

び販路拡大を目的に平成25年に初開催。今回で3回目の開催となる。今年はこの青森でも有数の集客力を誇る2大イベントが初めて合同開催されることとなった。2つのイベントがタッグを組み、双方の力を集結し、青森県及び道南地域の豊かな農林水産物や食の魅力を再認識してもらい、秋の大収穫祭としての定着を図る。イベントでは、農林水産物や加工品、ご当地グルメなどの販売はもちろん、展示コーナーや体験ブースを設ける。また、ステージイベントも数多く開催され、来場者を飽きさせない趣向が盛りだくさん



昨年の津軽海峡ブランド博の様子

の内容となつている。開催時間は両日とも午前10時から午後4時までとなり、おり、入場は無料。最新情報などは青森産業会館のホームページや同イベントのフェイスブックページなどで随時発信される。



(株)ファイナンシャル・サポート 代表取締役社長 永瀬 めぐみ 氏

細部に渡って包括的に指導・情報提供・運営協力を行っている。「現在、NPO法人ラ・シャリエでは、サービス付き高齢者向け住宅「シニアパンション」「シルバーピュア」を東北、北海道、四国で83箇所運営しています。住居に不便を感じている高齢者の方々に、清潔なバリアフリーの住居を提供する事業を行い、心身ともに健康を維持・回復していただくことを支援しています。北海道・東北エリアでは、同法人がこの分野の第一号ですが、現在は設立当時とは違いライバル企業が増えお客様から選ばれる時代へと変化してきました。同法人の

住宅は、低価格でありながらもトイレ・浴室・キッチンを完備し、プライバシーを重視した個室が一番の売りです。また、緊急時の対応として、夜間でも通報装置だけではなく従業員を待機させるなど、お客様が安心して暮らせるように配慮しています。お客様のためを想い今まで培ってきたノウハウが当法人の最大の武器となっております」と力強く語る。

同氏の目標について訪ねると、「目標は100箇所の高齢者向け住宅を展開することです。今年で入社8年となるため、10年となる2年後を目標に頑張つて

いきます。また、従業員が働きやすい環境を作り、笑顔の絶えない会社にしていきたいです」と優しい瞳で話す。プライベートに話が及ぶと、「中学校から楽器のフルートをやっており、今でも青森市民交響楽団で演奏しています。毎週金曜日に練習があり、仕事終わりに演奏会に向けて頑張っています。最近ではホットヨガへも通い、運動不足を解消するようにしています。何も考えなくていいので、ストレス発散にもなっています。おすすすめです」と笑顔を見せる永瀬社長は、二児の母親としても日々頑張っている。

「問屋町防災訓練」も今年で3年目となりました。しかし、参加者は少数横断的な訓練メニューを提供しているのかという問題があります。東日本大震災から4年、危機意識の風化は避けたいと思つています。転話題。今号は「稼ぐまちが地方を変える」誰とも言わなかった十の鉄則をご紹介します。著者は、高校時代から商店街・まちおこしに関わってきた「まちづくり」の第一人者・木下齊氏です。木下氏の「まちづくり思想」は、問屋町にも通底するものがありますので、順次その十の鉄則をご紹介します。①小さく始めよ②補助金を当てにするな③「一連托生」のパートナーを見つけよ④「全員の合意」は必要ない⑤「先回り営業」で確実に回収⑥「利益率」にとことんこだわ⑦「稼ぎ」を流出させるな⑧「撤退ライン」は最初に決めておけ⑨最初から専従者を雇うな⑩「お金」のルールは厳格に▼最初の①小さく始めよの意ですが、役所以外の誰からも資金を集められない取組みは無意味である。小さく始めれば、資金規模も身の丈にあった適正なものとなる。小さな取組みを増やし多様性を創出すべきである。というものの▼次に②補助金を当てにするなです。税金はそもそも事業性のない社会制度のためにある。補助金を入れた瞬間に、その事業は本来の機能を失い、誰も対価を支払うような取組みではなくなる。恐ろしいのは補助金なしには継続できない状況にまで追い込まれてしまう。ということ▼この稿つづく(藤本)

**編集後記**

「問屋町防災訓練」も今年で3年目となりました。しかし、参加者は少数横断的な訓練メニューを提供しているのかという問題があります。東日本大震災から4年、危機意識の風化は避けたいと思つています。転話題。今号は「稼ぐまちが地方を変える」誰とも言わなかった十の鉄則をご紹介します。著者は、高校時代から商店街・まちおこしに関わってきた「まちづくり」の第一人者・木下齊氏です。木下氏の「まちづくり思想」は、問屋町にも通底するものがありますので、順次その十の鉄則をご紹介します。①小さく始めよ②補助金を当てにするな③「一連托生」のパートナーを見つけよ④「全員の合意」は必要ない⑤「先回り営業」で確実に回収⑥「利益率」にとことんこだわ⑦「稼ぎ」を流出させるな⑧「撤退ライン」は最初に決めておけ⑨最初から専従者を雇うな⑩「お金」のルールは厳格に▼最初の①小さく始めよの意ですが、役所以外の誰からも資金を集められない取組みは無意味である。小さく始めれば、資金規模も身の丈にあった適正なものとなる。小さな取組みを増やし多様性を創出すべきである。というものの▼次に②補助金を当てにするなです。税金はそもそも事業性のない社会制度のためにある。補助金を入れた瞬間に、その事業は本来の機能を失い、誰も対価を支払うような取組みではなくなる。恐ろしいのは補助金なしには継続できない状況にまで追い込まれてしまう。ということ▼この稿つづく(藤本)

**株式会社 宇治園**

飲み込みが困難な方 (軽中度の嚥下障害) 高齢者の方向け!

※とろみパウダー入り粉末緑茶ですので『二手間軽減!』 (簡単便利、お湯でも水でもすぐできる)

とろみパウダー入り

本社 〒060-0032 札幌市中央区北2条東10丁目 TEL 011-241-5200 FAX 011-241-2330  
 青森支店 〒030-0131 青森市問屋町2丁目12-25 TEL 017-738-4811 FAX 017-738-4946

世界初プラグインハイブリッド4WD

**OUTLANDER PHEV**

充電電力使用時 走行距離 **60.8 km**  
 ハイブリット 燃料消費率 **20.2 km/ℓ**

史上最高のプレミアムツーリングへ

**OUTLANDER**

**青森三菱自動車販売株式会社**  
 本社: 青森市大字新城字平岡397番地20 TEL: 017-781-3311